



発熱、咽頭炎、結膜炎 咽頭結膜熱にご注意を！

平成 29 年 12 月 27 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

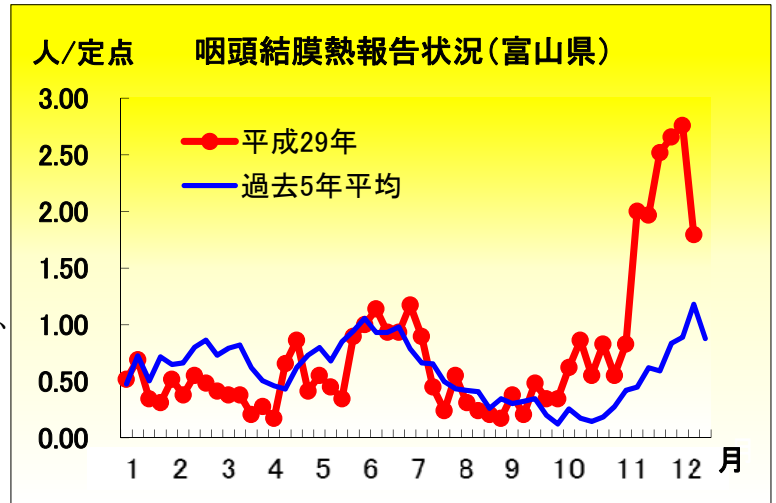
(平成 29 年第 51 週分・12 月 18 日～12 月 24 日)

(平成 29 年第 52 週分は平成 30 年 1 月 5 日 (金) 発行予定です。)

《 インフォメーション 》

●咽頭結膜熱

今週、咽頭結膜熱の報告数が定点医療機関あたり 1.79 人となり、先週 (2.76) から減少しましたが、過去 5 年間と比較して報告数の多い状態が続いています (右図参照)。この疾患は、一年を通じて報告されます。かつて夏にプールを介して流行することがあったため、俗称として「プール熱」とも呼ばれていましたが、現在は塩素濃度管理の徹底等によりプール水での感染は稀と考えられます。保育所等だけではなく兄弟間での感染もよく起きていることから、家庭における感染予防も重要です。



咽頭結膜熱は、アデノウイルスが原因となる小児の急性ウイルス性感染症です。潜伏期 (5～7 日) の後に、発熱、目の充血、咽頭痛などの症状が出現し、それらが 3～5 日間持続します。基本的には予後の良い疾患で、脱水防止などの治療が中心となります。主な感染経路は飛沫感染ですが、眼結膜を介しても感染します。ウイルスは、患者の唾液や目ヤニ、便に多量に存在しています。また、症状が消失しても暫くはウイルスを排出しているため、回復後も衛生管理には気を付ける必要があります。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を予防しましょう。

- 帰宅時、食事の前、トイレの後、患者の看護の後は必ず石鹸で手を洗いましょう。
- タオルやハンカチの共用は止めましょう。
- アデノウイルスに対しアルコール消毒は効果が低い。タオル等の消毒は塩素か熱湯で。

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 5 件 (①30 歳代、男性 ②30 歳代、女性 ③60 歳代、男性
④70 歳代、男性 ⑤80 歳代、男性)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 件 (①60 歳代、男性 ②70 歳代、男性)
後天性免疫不全症候群 1 件 (第 46 週診断分：60 歳代、男性、AIDS)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	11.14	9.45	↑
2 位	インフルエンザ	2.35	1.44	↑
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93	1.93	→
4 位	手足口病	1.90	1.76	↑
5 位	咽頭結膜熱	1.79	2.76	↓
6 位	マイコプラズマ肺炎	0.80	0.20	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第51週 平成29年12月18日～平成29年12月24日）

分類	疾患	今週報告分(第51週)					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核		1	2		2	5	18	8	54	16	86	182	
三類感染症	細菌性赤痢									1		2	3	
	腸管出血性大腸菌感染症							1	2	14	2	13	32	
四類感染症	E型肝炎											1	1	
	A型肝炎							2				1	3	
	つつが虫病							4				1	5	
	デング熱											3	3	
	レジオネラ症							6		9	3	19	37	
五類感染症	アメーバ赤痢							1		1	1	4	7	
	ウイルス性肝炎							1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1	2	3			4	3	10	
	急性脳炎							1		1		2	4	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											2	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								1	2		5	8	
	後天性免疫不全症候群									1		9	10	
	ジアルジア症							2		1		1	4	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	1	3	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症							7		5	3	21	36	
	水痘（入院例）									2		1	3	
	梅毒							1		5	1	8	15	
	播種性クリプトコックス症											2	2	
	麻しん											1	1	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	21	5	42	5	40	113	1,918	1,386	2,557	1,580	3,529	10,970
			3.00	1.00	3.23	0.71	2.50	2.35						
		RSウイルス感染症	2	1	4		16	23	89	78	316	209	775	1,467
		0.50	0.33	0.50		1.60	0.79							
咽頭結膜熱		18	2	12		20	52	194	90	301	68	441	1,094	
		4.50	0.67	1.50		2.00	1.79							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	6	25	5	19	56	175	81	884	265	890	2,295	
		0.25	2.00	3.13	1.25	1.90	1.93							
感染性胃腸炎		44	34	57	26	162	323	1,730	1,076	1,785	739	4,111	9,441	
		11.00	11.33	7.13	6.50	16.20	11.14							
水痘			3	10	3	3	19	8	42	127	67	153	397	
			1.00	1.25	0.75	0.30	0.66							
手足口病			6	12	3	34	55	265	252	1,308	317	1,201	3,343	
			2.00	1.50	0.75	3.40	1.90							
伝染性紅斑								1	1	5	1	20	28	
突発性発しん		1	1	3		6	11	57	38	219	78	148	540	
		0.25	0.33	0.38		0.60	0.38							
百日咳										2			2	
ヘルパンギーナ		3					3	70	50	263	121	138	642	
		0.75					0.10							
流行性耳下腺炎		3				1	4	178	73	423	78	369	1,121	
		0.75				0.10	0.14							
急性出血性結膜炎										4	2	1	7	
流行性角結膜炎	1		1			2	2	6	235	26	8	277		
	1.00		0.50			0.29								
細菌性髄膜炎							1				1	2		
無菌性髄膜炎							1				5	6		
マイコプラズマ肺炎			2	1	1	4	9	3	20	17	25	74		
			2.00	1.00	1.00	0.80								
クラミジア肺炎							1	1		1	4	7		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58		
インフルエンザによる入院患者（*）				2	1	3					16	5	21	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

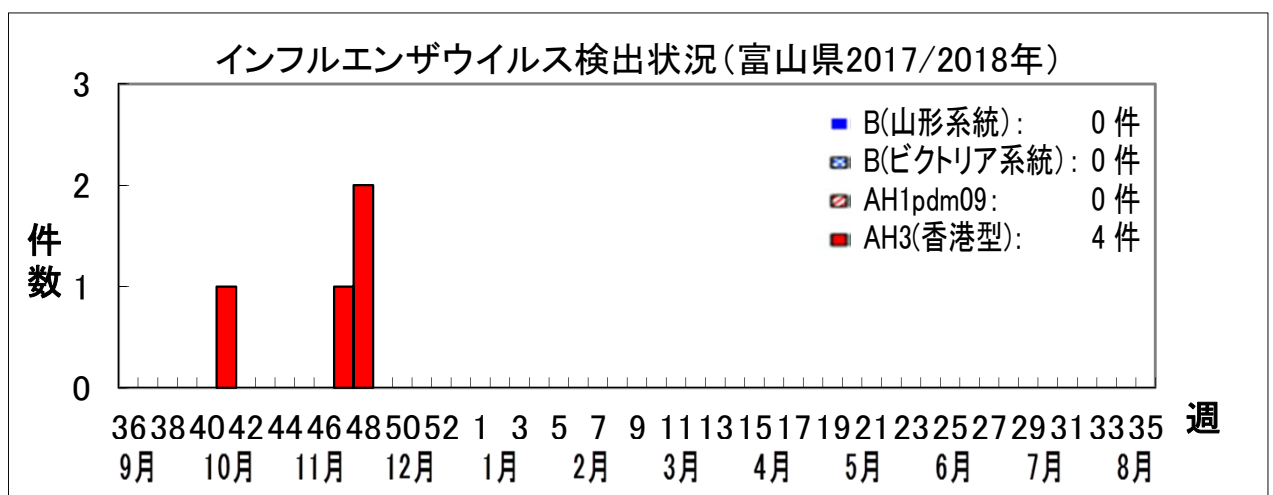
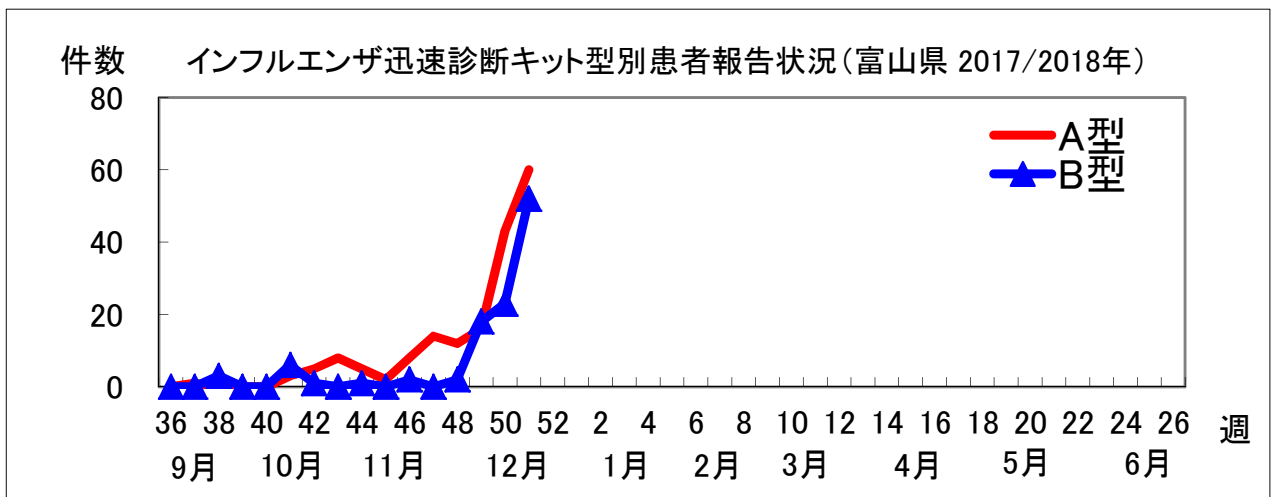
現在、下の表によると、A型が53.1%、B型が46%となっています。

第51週(12/18~12/24)：富山県 2.35人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	17	4	0	21
中部	2 / 5	2	2	1	5
高岡	11 / 13	4	38	0	42
砺波	4 / 7	3	2	0	5
富山市	8 / 16	34	6	0	40
富山県	31 / 48 ^{※1}	60	52	1	113
富山県累計(2017年36週~)		177	108	10	295

※1 報告定点数の例(31/48の場合):48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が31か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





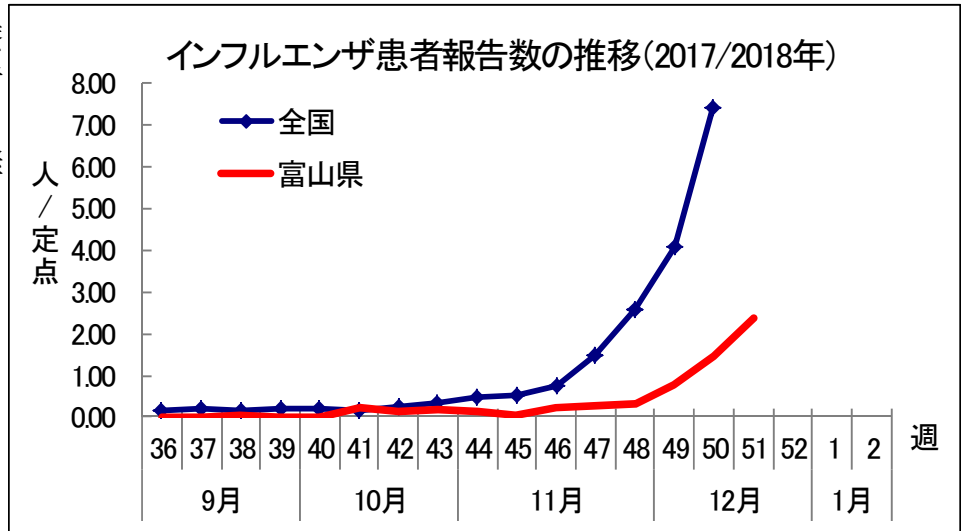
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 51 週 (12/18~12/24) : 富山県 2.35 人/定点

新川 HC (3.00)、中部 HC (1.00)、高岡 HC (3.23)、砺波 HC (0.71)、富山市 HC (2.50)

県内は第 50 週に定点医療機関あたり 1 人を超え、流行期に入りました。

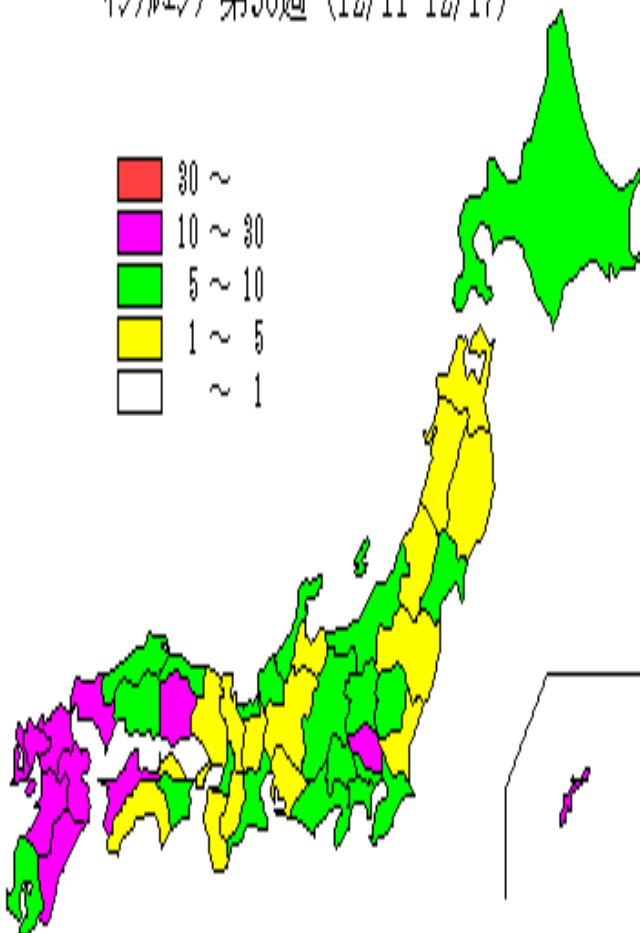
今後、しばらくは流行が継続することが予想されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 50 週 (12/11~12/17)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 7.40 人となり、前週の 4.07 人より増加しました。47 都道府県すべてで前週より増加しています。

インフルエンザ第50週 (12/11-12/17)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	7.49	滋賀県	4.70
青森県	2.94	京都府	4.97
岩手県	3.75	大阪府	5.20
宮城県	7.06	兵庫県	4.71
秋田県	3.52	奈良県	4.02
山形県	2.54	和歌山県	3.33
福島県	2.66	鳥取県	6.17
茨城県	3.93	島根県	7.42
栃木県	7.64	岡山県	13.63
群馬県	5.46	広島県	9.60
埼玉県	11.44	山口県	11.79
千葉県	7.59	徳島県	8.00
東京都	9.03	香川県	3.11
神奈川県	7.15	愛媛県	12.82
新潟県	6.44	高知県	1.33
富山県	1.44	福岡県	10.57
石川県	5.21	佐賀県	10.33
福井県	6.97	長崎県	18.94
山梨県	5.59	熊本県	11.23
長野県	9.74	大分県	13.31
岐阜県	2.98	宮崎県	13.61
静岡県	7.38	鹿児島県	6.47
愛知県	4.79	沖縄県	10.43
三重県	7.49	全国	7.40